



臨床心理士への相談サービスを開始しました

コロコニコンシェルジュ・デスクでは、教職員のみなさまを対象に育児休業・介護休業制度などについてのご相談を承っておりますが、この度、臨床心理士による相談サービスを新たに開始いたしました。日々の業務・生活面で感じている心の不安、ストレス、対人関係の悩みなどひとりで抱え込まずにまずはご相談ください。臨床心理士の資格を持ったカウンセラーがあなたと一緒に解決を目指します。相談は予約制ですので事前にご連絡ください。

利用日時 ・対象	毎週木曜日 9：00～15：00 ※15：00以降をご希望の方はご相談ください 秋田大学全教職員（非常勤含む）	予約受付	秋田大学男女共同参画推進室 TEL：018-889-3183 FAX：018-889-3186 E-mail：coloconi@jimu.akita-u.ac.jp ホームページからも受け付けております http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/contact/
対面相談	場 所：秋田大学保健管理センター （秋田大学手形キャンパス内） 相談時間：最大50分	電話相談	予約時間に下記番号にお電話ください TEL：018-889-3183 相談時間：最大20分
料 金	無料（電話相談の場合は通話料金をご負担いただきます）	相談内容	対人関係、心身、人生・生き方などに関する心の不安・悩み

女性大学院生・学部生のための キャリア・パス講演会を開催しました



講師の山口 留美子先生

2月12日（水）14時より、工学資源学部1号館第2会議室において「女性大学院生・学部生のためのキャリア・パス講演会」を開催しました。当日は、秋田大学大学院生、学部生、研究者、職員のほか、学外からも研究者の方々の参加がありました。

大学院工学資源学研究科 山口 留美子 先生をお招きし、「ワーク・ライフ・バランス：研究と家庭の両立」と題し、ご自身の結婚・出産などのライフイベントと研究をどのようにして両立させてきたか、ワーク・ライフ・バランス実践のために何が必要だったかなど実体験をもとにお話いただきました。

「案ずるより実践、ワーク・ライフ・バランス」先の事を深く考えるよりも目の前の出来ることを実践していく。という山口先生のお言葉が印象深い講演でした。

講演後の交流会では、山口先生を囲んで研究について話を聞いたり、学内外隔てなく仕事や研究、学業などの話題で盛り上がり、和やかな雰囲気となりました。



交流会の様子

女性研究者のためのスキルアップセミナー・交流会を開催しました

3月3日（月）16時より、大学院医学系研究科 医学系研究棟講義室3において「女性研究者のためのスキルアップセミナー 英語論文の書き方：考案のロジック」を開催しました。

当日は、東京女子医科大学 心臓血管外科学講座、助教の富澤康子氏を講師に迎え、学内の女性研究者はもとより、男性研究者や秋田県内の他大学や研究機関の研究者の方、研究者を目指す大学院生の参加が多数ありました。

渡部育子男女共同参画推進室長の開会あいさつ、医学系研究科 蓮沼助教の講師紹介に続き、「英語論文の書き方：考案のロジック」と題して、富澤氏に講演していただきました。

英語論文の考案の起承転結は日本語論文とは違うことから、抜けの少ない考案を「考案箱」を使用して組み立てる手法や、文献管理ソフト等ツールの使用法をはじめ、英語論文を書く上で欠かせない点を教えていただきました。



講師の富澤 康子氏

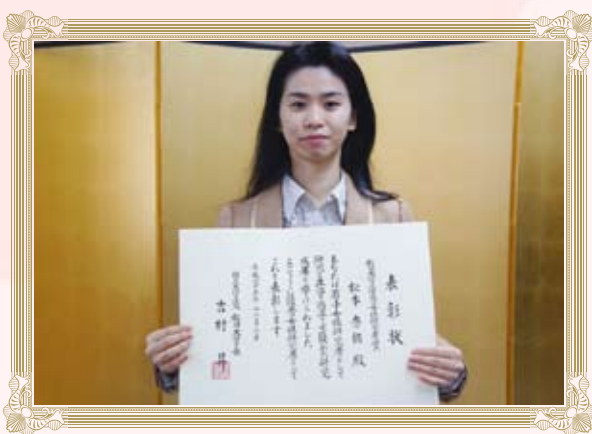


質疑応答の様子

セミナー後には、軽食とお菓子を囲んで交流会を開催しました。参加者は、お互いの研究内容について話したり、情報交換をして交流を深めていました。また、講師の富澤氏に質疑応答では質問しきれなかった点について熱心に質問し、アドバイスしてもらった様子も見受けられました。

終了後のアンケートでは、「具体的なツールの使い方や、利点、欠点を教えて頂けてよかった。」「論文執筆を再開するモチベーションをもらえました。」などの声が寄せられたのと共に、今後も同様のセミナーの開催を望む声が多くありました。

平成25年度 秋田大学優秀女性研究者表彰受賞者インタビュー



ココロニホームページでもご紹介しました平成25年度秋田大学優秀女性研究者表彰を受賞された教育文化学部の松本奈緒准教授に、ご自身のワーク・ライフ・バランスについてどのように維持されているか、お聴きしました。

研究者としてのやるべきことを優先するとどうしても一斉休業や週末の休暇の時間を用いて研究作業をすることになりますね。現に今年の夏季休業では休暇を返上して、休業明けの学会発表の作業をやっていました。研究のまとめや学会発表前でない余裕のある時期にはゆっくり休養をと

ること、栄養価の高い食事をとること、気分転換に景色のいい所にでかけるようにしています。

また、秋田に赴任してから、社交ダンスをはじめたのですが、週に何回かの練習とたまに週末に開かれるダンスパーティーに参加しています。身体を健康的に動かしたり、仲間との交流を楽しんだり、パーッと明るい音楽に合わせて踊ることでストレスが発散できるところがよいですね。社交ダンスを始めてから、オンとオフの切り替えができ、仕事や研究にも勢いが出てきた気がします。

松本先生には、若手女性研究者、研究者の卵である方のロールモデルとして、より一層のご活躍を期待します！

「女性研究者支援コンソーシアムあきた」 設立記念シンポジウムを開催しました

平成26年3月14日（金）14時より、秋田ビューホテル4階「飛翔の間」において、「女性研究者支援コンソーシアムあきた」設立記念シンポジウムを開催しました。このシンポジウムは、平成25年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業女性研究者研究活動支援事業（拠点型）の採択により、秋田県内の高等教育機関、公設研究機関、自治体等本学を含め20機関からなる「女性研究者支援コンソーシアムあきた」の設立を記念して開催したものです。

第1部 基調講演「北都銀行における女性の活躍促進」

講師 株式会社北都銀行 専務取締役 伊藤 兵一氏

第1部の基調講演では、女性の活躍促進を進めている、株式会社北都銀行 専務取締役 伊藤 兵一氏を講師に迎え、北都銀行が取り組んでいる事例を紹介していただきました。

女性支店長の登用促進や、女性の感性ならではのマーケティングやマネジメント等、新たなビジネススキルを習得するための企業内大学「HOKUTO Women's College」の展開など、女性の活躍促進のための具体的な取り組み内容についてお話がありました。質疑応答では銀行では珍しいフレックスタイム制度についての質問があがりました。



講師の伊藤 兵一氏



基調講演の様子

終了後のアンケートでは、「北都銀行の先進的な事例を聴けてよかった」「北都銀行の取り組みは民間企業の現状を知ることができ、たいへんよかった」などの感想と共に「他の業種の取り組みも聞いてみたい」など今後の要望についての意見もありました。

第2部 公開討議「秋田県における持続可能な女性研究者支援の在り方を探る」

パネリスト 秋田大学長 吉村 昇 秋田県立大学長 小間 篤氏
秋田県産業技術センター所長 齋藤 昭則氏
コーディネーター 秋田大学学長補佐（男女共同参画担当） 渡部 育子

第2部の公開討議では、秋田県内の3機関のトップによる「秋田県における持続可能な女性研究者支援の在り方を探る」というテーマで、討議が行われました。県内研究機関のトップによる女性研究者支援についての公開討議は初めての試みとなりました。まずは、各機関の取り組みとして、学内保育園、病児・病後児保育室の運営、手厚い育児休暇や男女差のない給与・昇進・業務内容など、具体的なお話がありました。

また、介護休暇取得に対する職場の柔軟な対応、女性研究者を孤立させないための研究者同士のネットワークの構築・メンター制度の確立など、女性研究者支援に対する課題についても議論されました。

今後、女性研究者支援に関する取り組みを進めるうえで、県内各機関の連携が重要であると考えさせられる討議となりました。

終了後のアンケートでは、「県内の機関トップの討議はとても勉強になった」「女性研究者を増やす方法を考えさせられた」などの声が寄せられました。



公開討議の様子

教養基礎教育科目「男女共同参画社会論」を実施しました

男女共同参画を推進する意義を学修し、社会人としてのキャリア形成やワーク・ライフ・バランスの意識を涵養することを目的とし、教養基礎教育科目として「男女共同参画社会論」の講義を平成25年度後期、全学部の学生を対象に実施しました。わが国の男女参画の実情と課題に関して、毎回違う講師がオムニバス形式で講義を行いました。

男女共同参画推進室長の渡部育子教授をはじめ、教育文化学部の望月一枝教授、アスマン・シュテファニー准教授、大学院工学資源学研究科の奥山栄樹准教授、ベンチャー・インキュベーション・センターの中島佐和子助教のほかに、秋田労働局雇用均等室長、秋田魁新報の女性記者に講師を依頼し、毎回違った視点からの男女共同参画についてお話しいただきました。

この講義を受講した学生は94名で、終了後のアンケートでは「育休の制度について知らなかったのだから参考になった」や「多くの講師の方から日本や世界の男女共同参画についての話を聞いて、理解を深めることができたので、受講してよかった」などの意見があった一方、「男女共同参画なのに講師が女性ばかりだった」との意見もありました。



出産・育児・介護のことで悩んだらご相談ください！

男女共同参画推進室では、妊娠・出産時に利用できる制度、育児期や家族の介護が必要になった時に利用可能な制度等のご案内をしています。教職員のみなさんに配付されている「コロコニガイドブック」「コロコニガイドブックQ&A集」にも制度について掲載しておりますが、「こんな時はどうすればいい?」「制度を利用する際の条件や必要な書類ってあるの?」など疑問に感じたり、悩んだら男女共同参画推進室までご相談ください。もちろんプライバシーは厳守いたします。ご質問・ご相談は、お電話・メール・直接のご相談、どの方法でも対応いたします。まずは、ご連絡ください。

介護休暇を取得する場合いつまでに申請すればいいの?

?



男性が育児休業を取得する際、何日以上、何日未満など日数に制限はあるの?



【男女共同参画推進室コンシェルジュ・デスク】

TEL : 018-889-2260 または 018-889-3183

相談専用E-mail : coloconi@jimu.akita-u.ac.jp

ホームページ <http://www.akita-u.ac.jp/coloconi>



発行：国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
電話：018-889-2260
<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>